

# Ultima III

ウルティマⅢ：エクソダス

**EXODUS**



真古代祈とう書

 **ORIGIN**  
  
PONY CANYON

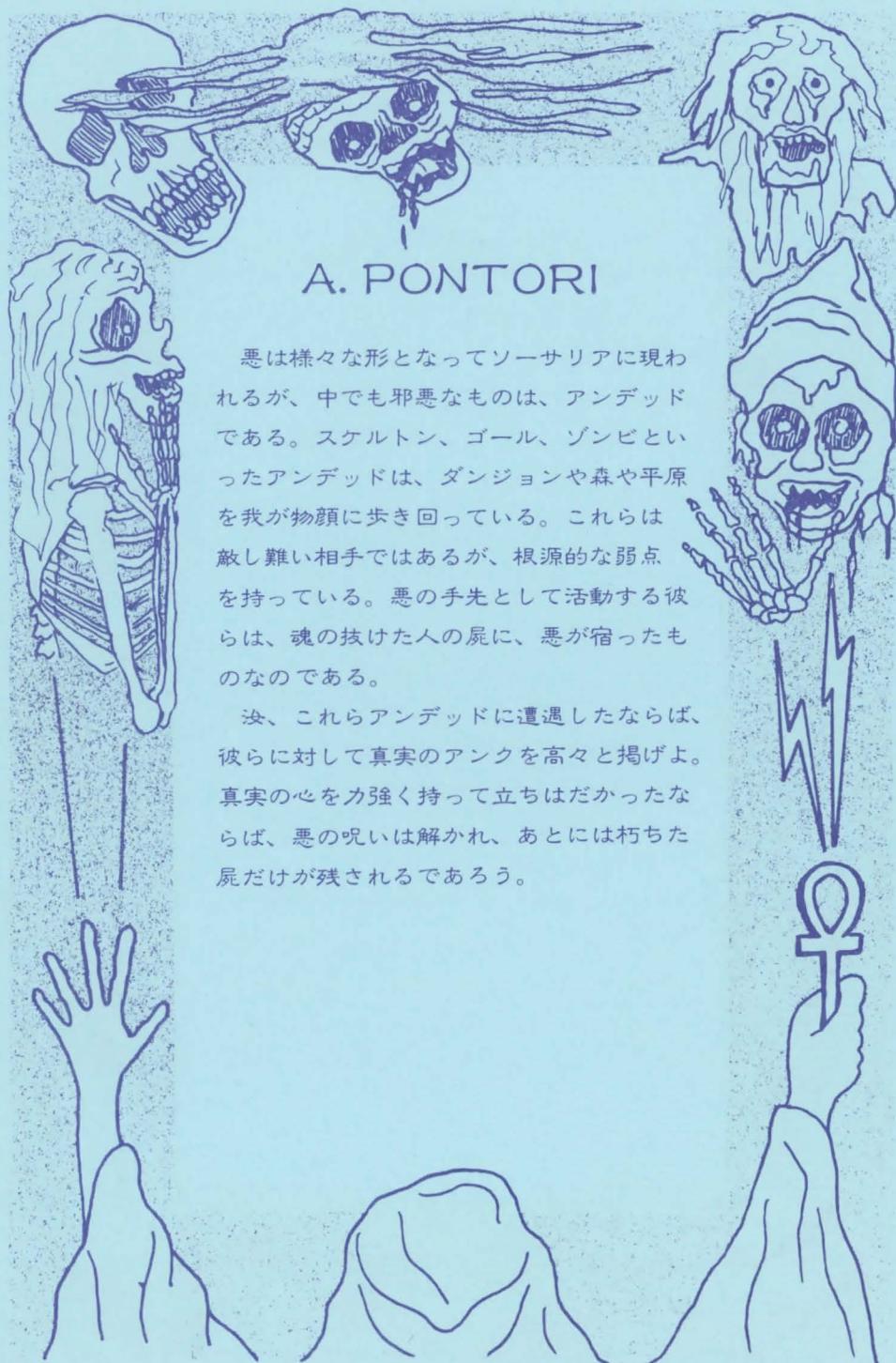


この真古代祈とう書は、当教派によって3千年間伝えられた物である。幾世代もの管理者の手に委ねられたるも、門外に持ち出されたことはない。今ここに、汝を新たな管理者として迎えるにあたり、一語一句なりとも他に漏洩することなきよう守られんことを願う。これに記された祈とうの数々は、計り知れない恩恵をもたらすものであるが、修行を積まぬ者が使用したならば、その者に恐ろしき災厄が降り注ぐことになる。また、これら神への祈りの言葉は、世の邪惡なる物との戦闘において、汝に力を与えることとなろう。

祈とうの呪文は、力の弱い順に記されている。その多くは、幾多の道を歩み大いなる知恵を身につけた後にのみ、行使できるものである。全身全靈をこれに捧げるならば、奇跡を起こす力が、いずれ汝にも宿るであろう。精進によって手にすることができる奇跡の力は、人の生死をも左右するものである。この尊い力は、世界の浄化のために使われるべきものである。決して、軽はずみに使うことなけれ。

いざ、この暗黒の時代に臨みて、我が祝福を受けよ。常に真実の希求を忘れるなけれ。真実こそ、無限の力の源なればなり。

予言者  
アリゼルカノン



## A. PONTORI

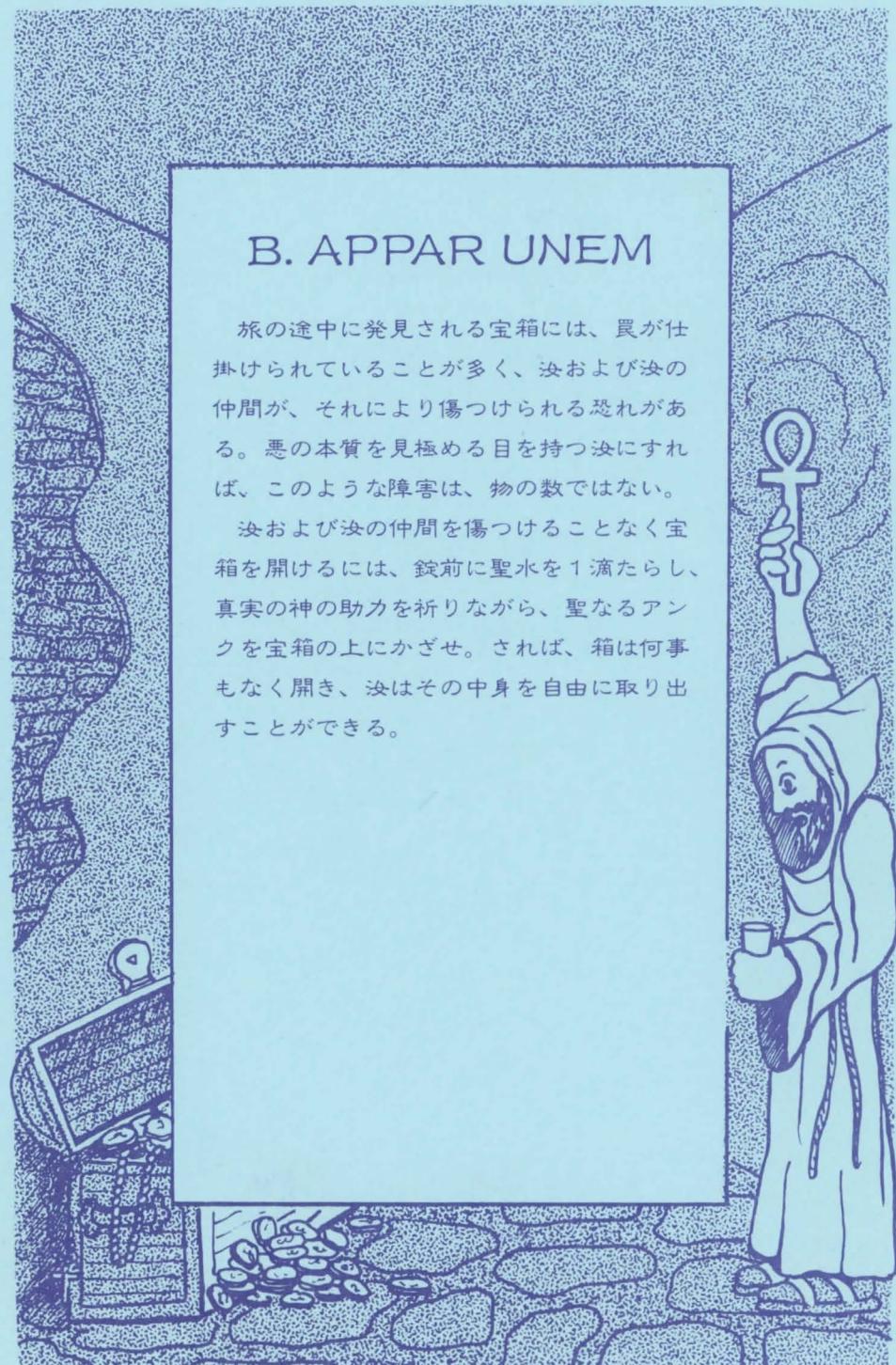
悪は様々な形となってソーサリアに現われるが、中でも邪悪なものは、アンデッドである。スケルトン、ゴール、ゾンビといったアンデッドは、ダンジョンや森や平原を我が物顔に歩き回っている。これらは敵し難い相手ではあるが、根源的な弱点を持っている。悪の手先として活動する彼らは、魂の抜けた人の屍に、悪が宿ったものなのである。

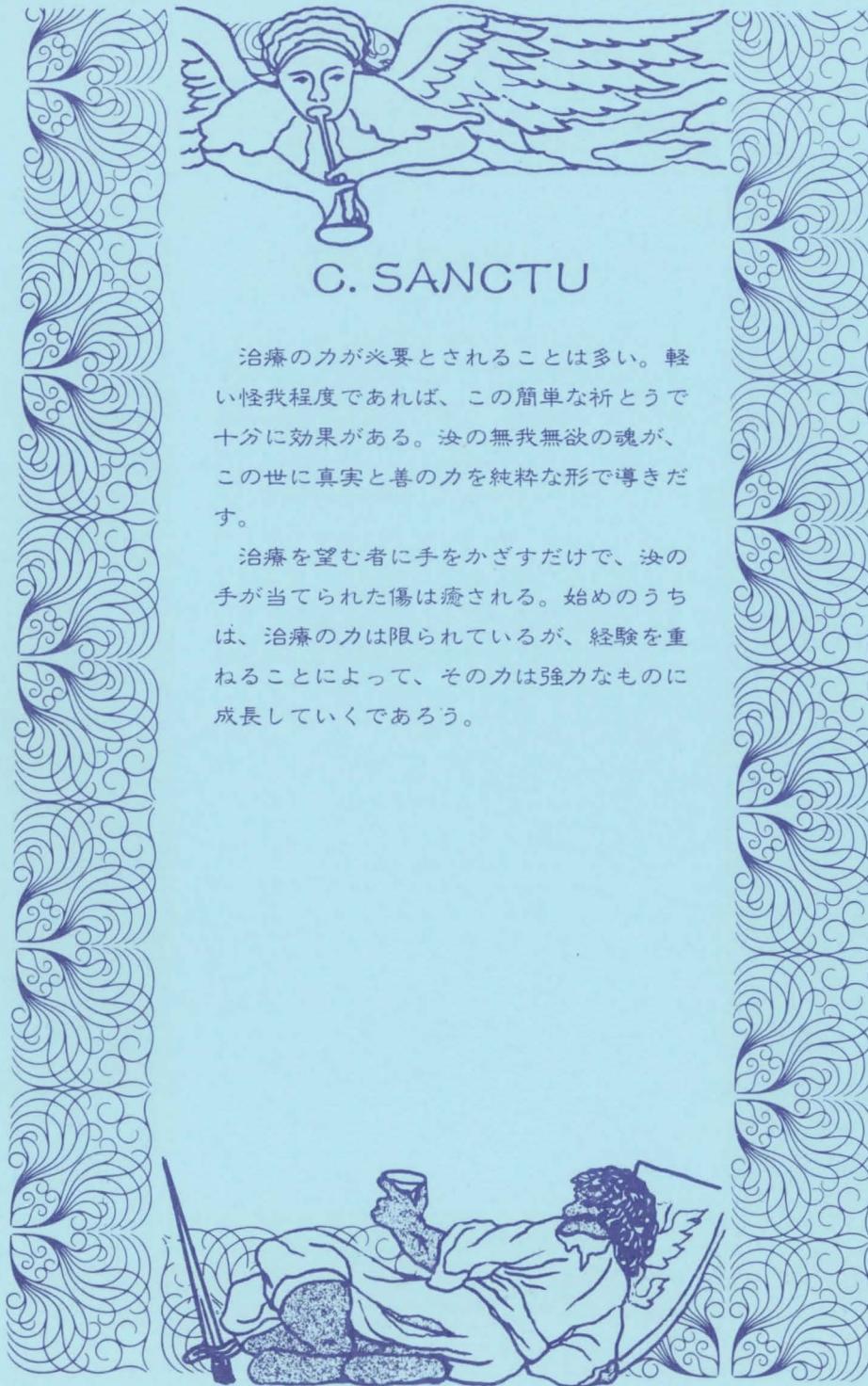
汝、これらアンデッドに遭遇したならば、彼らに対して真実のアンクを高々と掲げよ。真実の心を力強く持って立ちはだかったならば、悪の呪いは解かれ、あとには朽ちた屍だけが残されるであろう。

## B. APPAR UNEM

旅の途中に発見される宝箱には、罠が仕掛けられていることが多い、汝および汝の仲間が、それにより傷つけられる恐れがある。悪の本質を見極める目を持つ汝にすれば、このような障害は、物の数ではない。

汝および汝の仲間を傷つけることなく宝箱を開けるには、錠前に聖水を1滴たらし、真実の神の助力を祈りながら、聖なるアンクを宝箱の上にかざせ。されば、箱は何事もなく開き、汝はその中身を自由に取り出すことができる。

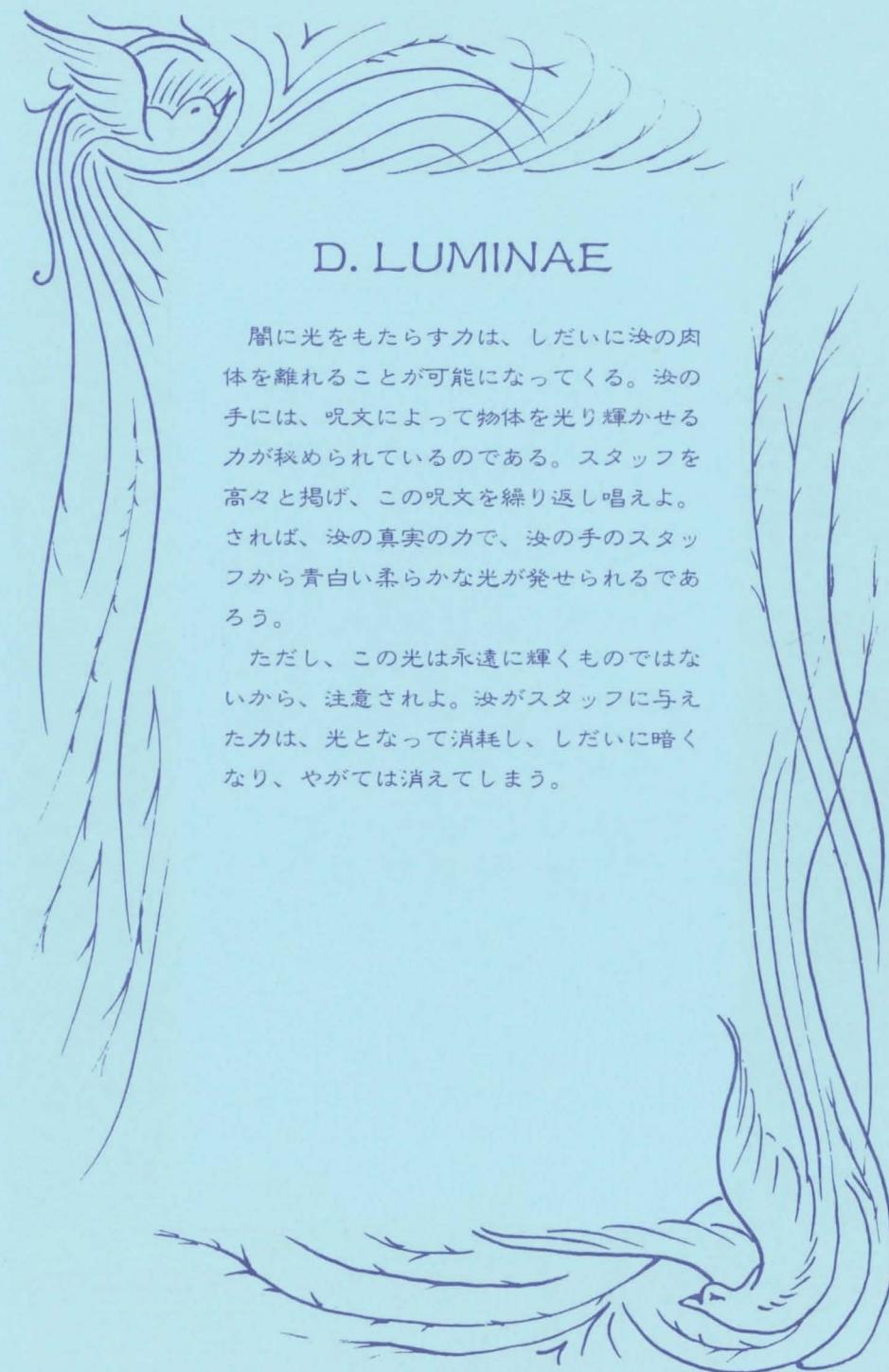




## C. SANCTU

治療の力が必要とされることも多い。軽い怪我程度であれば、この簡単な祈とうで十分に効果がある。汝の無我無欲の魂が、この世に真実と善の力を純粋な形で導きだす。

治療を望む者に手をかざすだけで、汝の手が当たられた傷は癒される。始めのうちは、治療の力は限られているが、経験を重ねることによって、その力は強力なものに成長していくであろう。



## D. LUMINAE

闇に光をもたらす力は、しだいに汝の肉体を離れることが可能になってくる。汝の手には、呪文によって物体を光り輝かせる力が秘められているのである。スタッフを高々と掲げ、この呪文を繰り返し唱えよ。されば、汝の真実の力で、汝の手のスタッフから青白い柔らかな光が発せられるであろう。

ただし、この光は永遠に輝くものではないから、注意されよ。汝がスタッフに与えた力は、光となって消耗し、しだいに暗くなり、やがては消えてしまう。

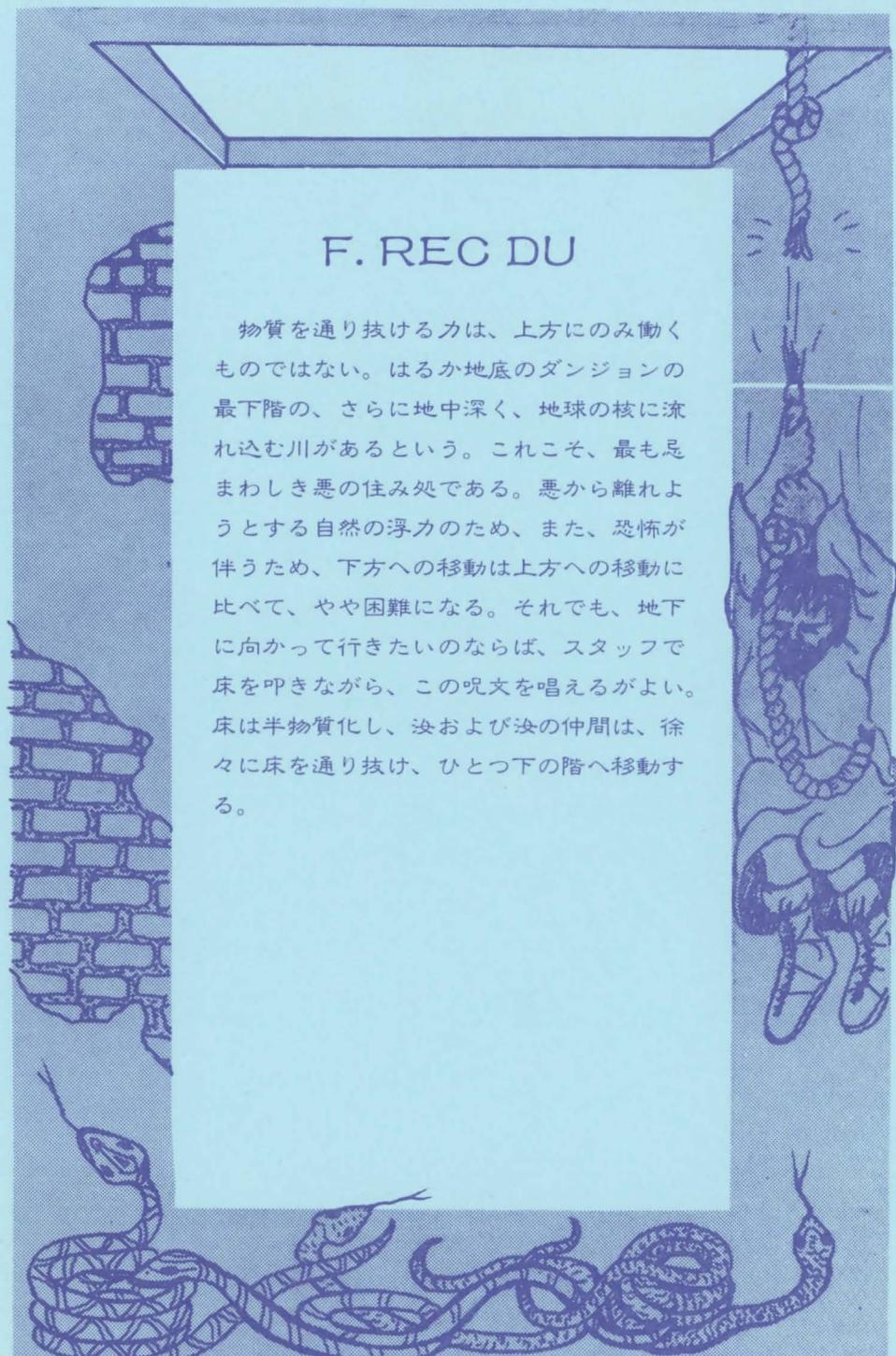
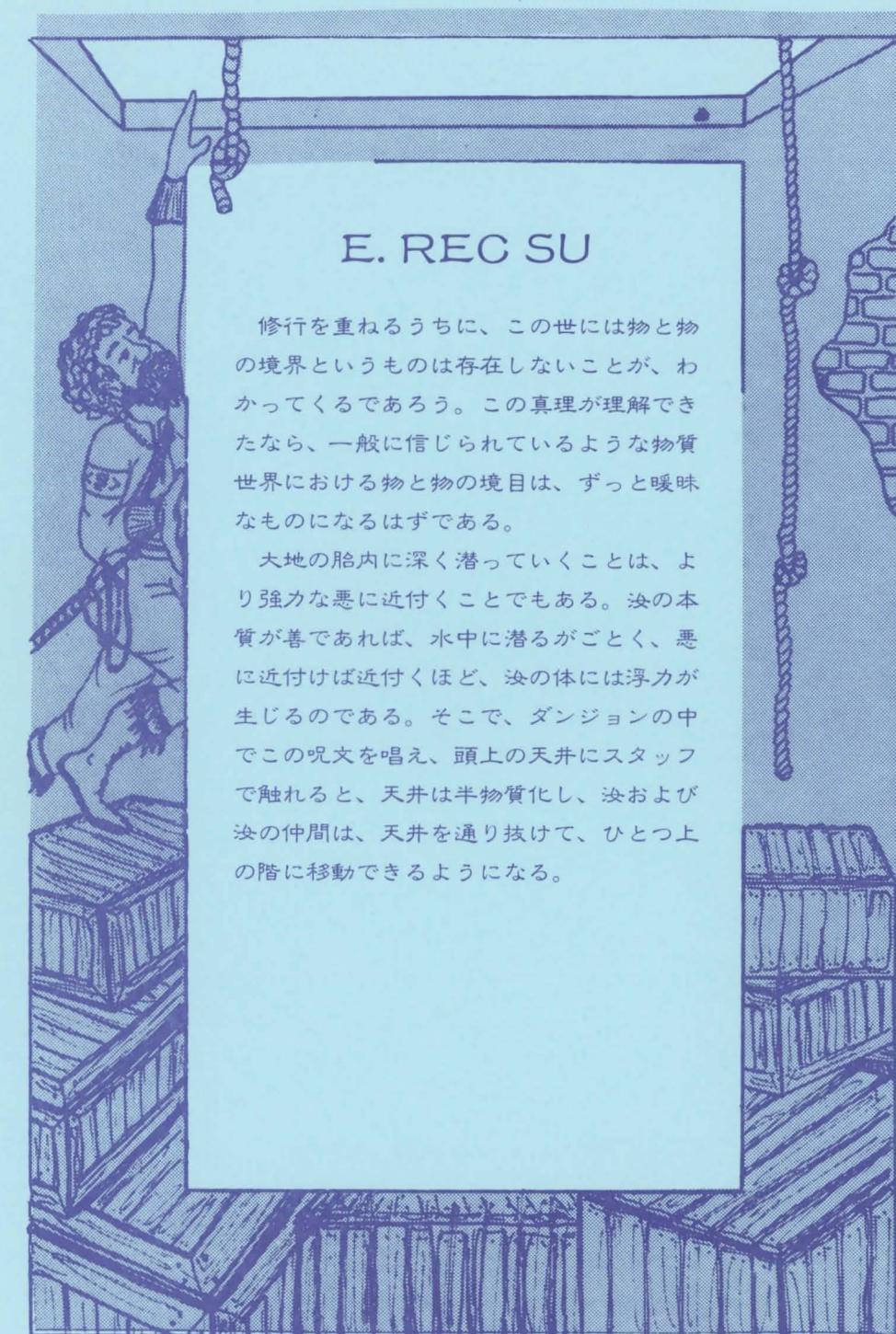
## E. REC SU

修行を重ねるうちに、この世には物と物の境界というものは存在しないことが、わかってくるであろう。この真理が理解できたら、一般に信じられているような物質世界における物と物の境目は、ずっと曖昧なものになるはずである。

大地の胎内に深く潜っていくことは、より強力な悪に近付くことでもある。汝の本質が善であれば、水中に潜るがごとく、悪に近付ければ近付くほど、汝の体には浮力が生じるのである。そこで、ダンジョンの中でこの呪文を唱え、頭上の天井にスタッフで触れると、天井は半物質化し、汝および汝の仲間は、天井を通り抜けて、ひとつ上の階に移動できるようになる。

## F. REC DU

物質を通り抜ける力は、上方にのみ働くものではない。はるか地底のダンジョンの最下階の、さらに地中深く、地球の核に流れ込む川があるという。これこそ、最も忌まわしき悪の住み処である。悪から離れようとする自然の浮力のため、また、恐怖が伴うため、下方への移動は上方への移動に比べて、やや困難になる。それでも、地下に向かって行きたいのならば、スタッフで床を叩きながら、この呪文を唱えるがよい。床は半物質化し、汝および汝の仲間は、徐々に床を通り抜け、ひとつ下の階へ移動する。



## G. LIB REC

物体を通り抜ける呪文の中でも一番高度なものが、ダンジョン内の平行移動である。

LIB RECは前述のふたつの移動と、次の点において異なる。物体が汝を通過させるのではなく、汝自身が半物質化し、物体を通過するのである。ある地点で汝の実体を消滅せしめると、まったく別の地点で実体を結ぶといった具合だ。

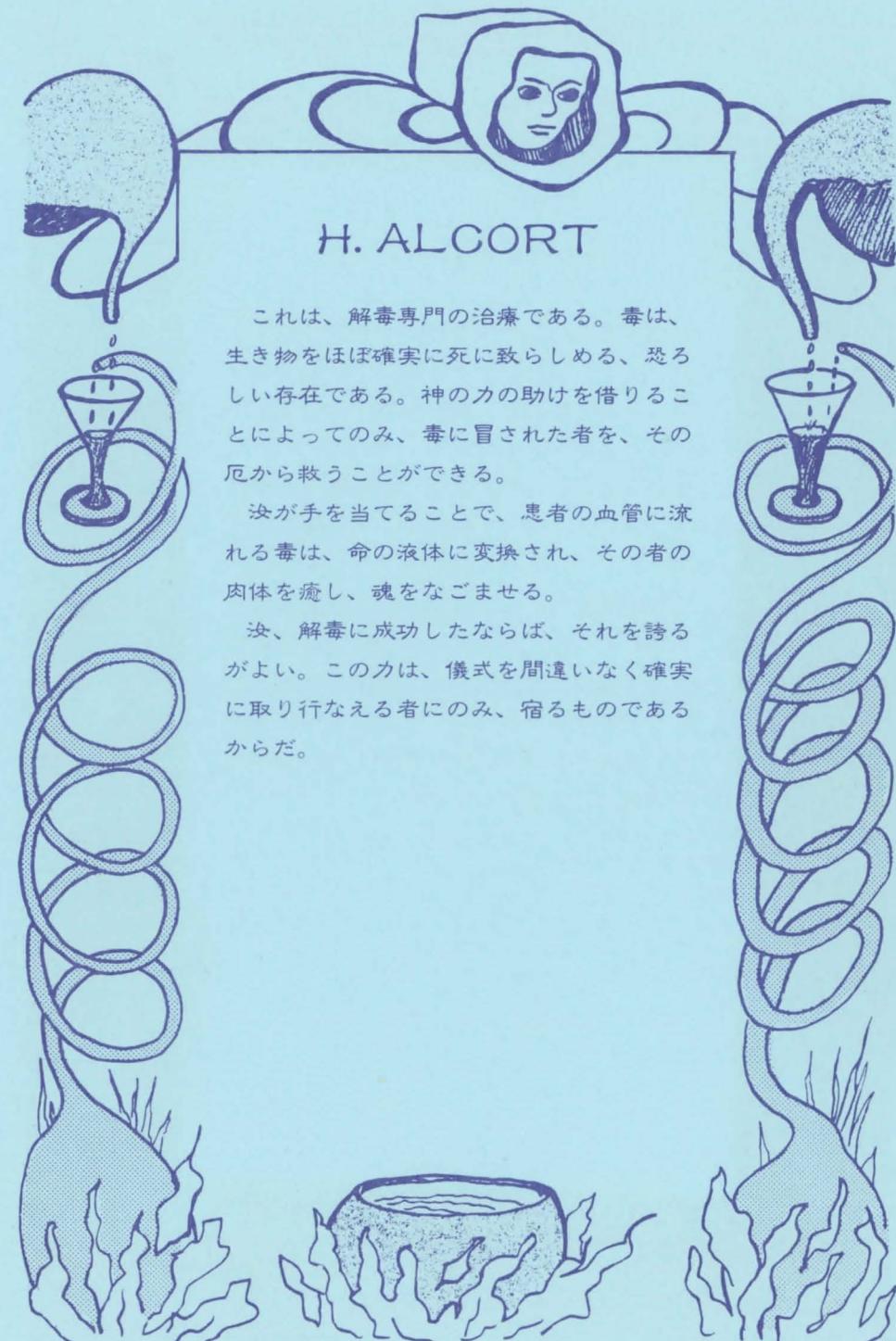
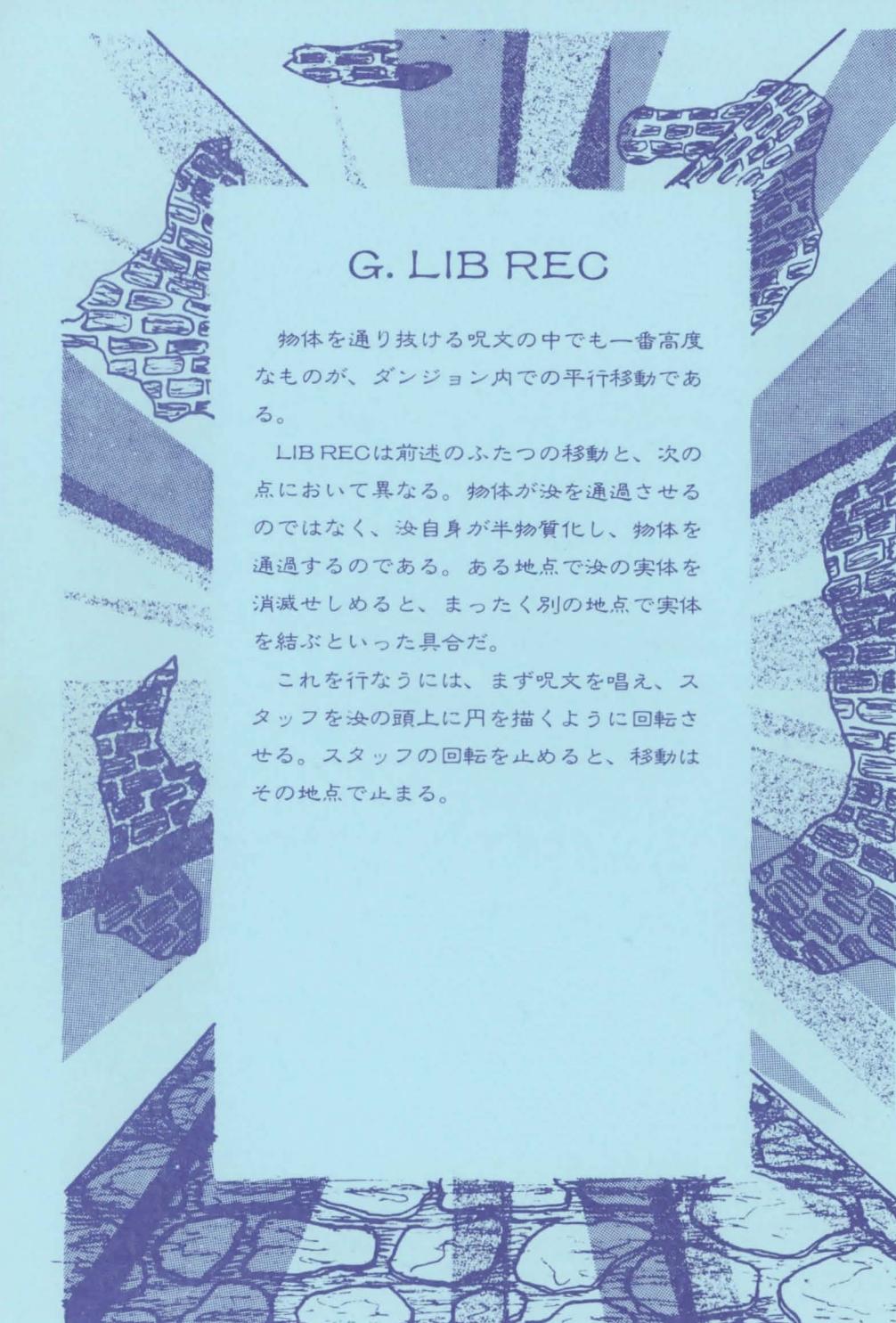
これを行なうには、まず呪文を唱え、スタッフを汝の頭上に円を描くように回転させる。スタッフの回転を止めると、移動はその地点で止まる。

## H. ALCORT

これは、解毒専門の治療である。毒は、生き物をほぼ確実に死に致らしめる、恐ろしい存在である。神の力の助けを借りることによってのみ、毒に冒された者を、その厄から救うことができる。

汝が手を当てることで、患者の血管に流れる毒は、命の液体に変換され、その者の肉体を癒し、魂をなごませる。

汝、解毒に成功したならば、それを誇るがよい。この力は、儀式を間違いなく確実に取り行なえる者にのみ、宿るものであるからだ。



## I. SEQUITU

地下深く探検の足を伸ばそうとすれば、重大な危機に直面することは、珍しくない。パーティーのほとんどが殺されてしまうか、瀕死の重傷を負わされることもあるだろう。食糧が底をついてしまうこともあるだろう。道に迷って、出口を見失うこともあるだろう。

この呪文は、巨大な墓穴の底で、絶望する旅人の脱出せしめる、真実の力を求めるものである。聖なるアンクを高く掲げ、この呪文を叫べ。されば、渢および渢の仲間は、真実の力によって、深淵よりソーサリアの地表に導かれるであろう。

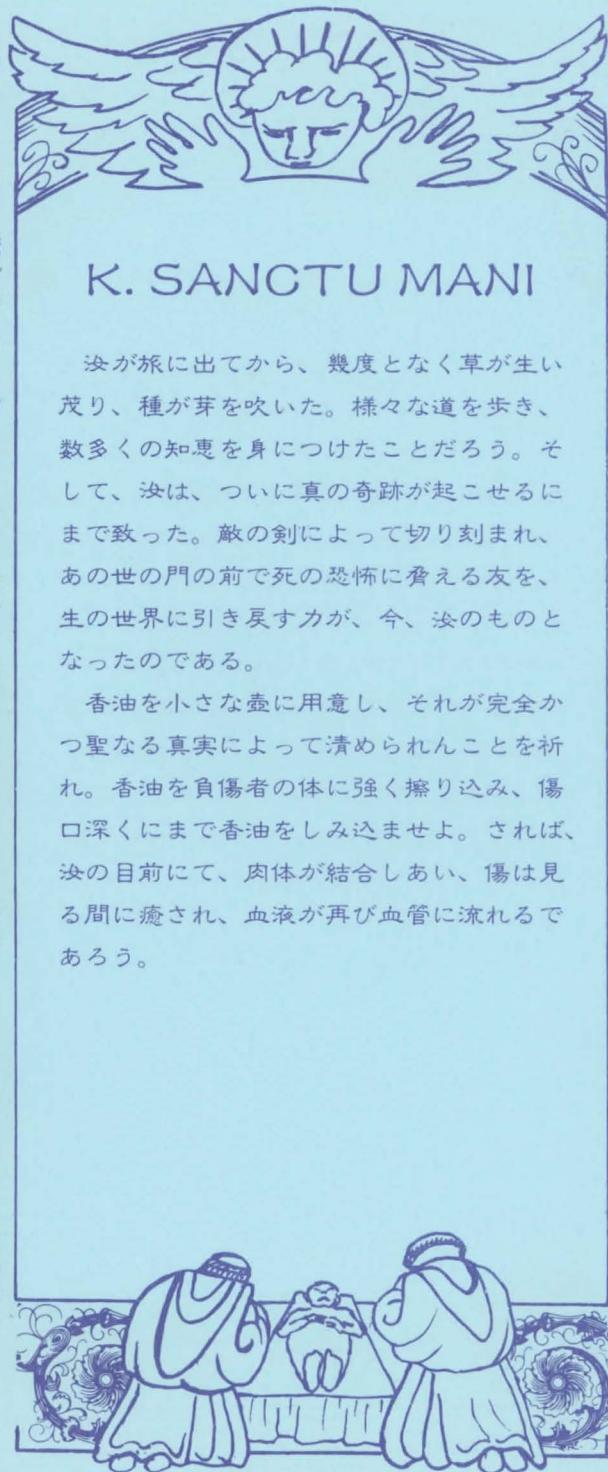
## J. SOMINAE

渢の能力は着実に高まっている。そしてその幅は、夜空を満たす星々のごとく、絶えず広がり続けている。

渢が初期の頃に修得した真実の光の呪文は、実にすばらしいものであった。しかし、より大きな問題の解決を迫られるようになると、より長く輝く光が必要になってくる。

この呪文を唱えたならば、渢の体全体が真実の光に包まれる。しかし、この光とて、渢自身の内なる力を燃やして輝くものなれば、永遠に輝き続けることはできないと知れ。

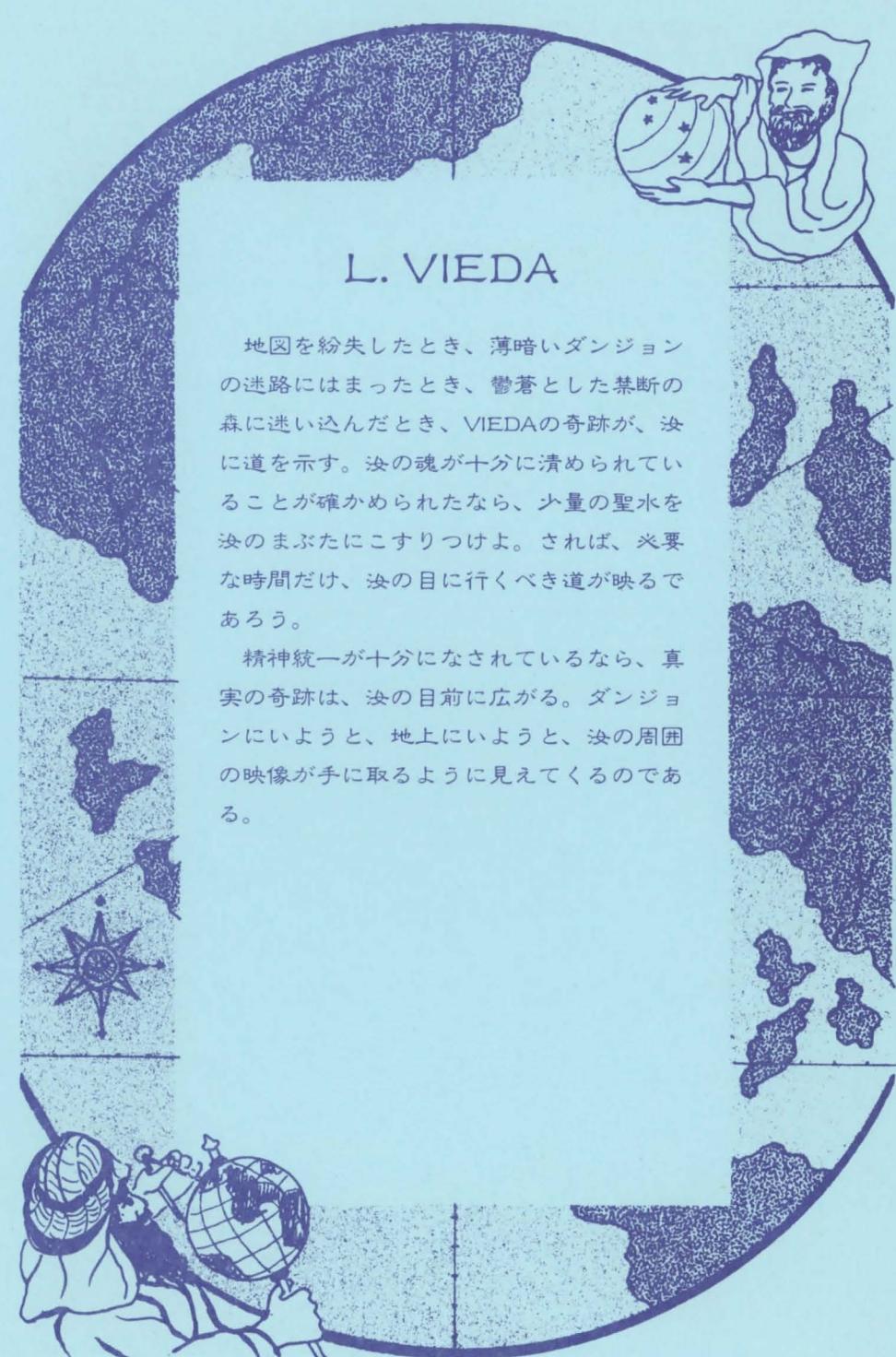




## K. SANCTU MANI

汝が旅に出てから、幾度となく草が生い茂り、種が芽を吹いた。様々な道を歩き、数多くの知恵を身につけたことだろう。そして、汝は、ついに真の奇跡が起こせるにまで致った。敵の剣によって切り刻まれ、あの世の門の前で死の恐怖に脅える友を、生の世界に引き戻す力が、今、汝のものとなつたのである。

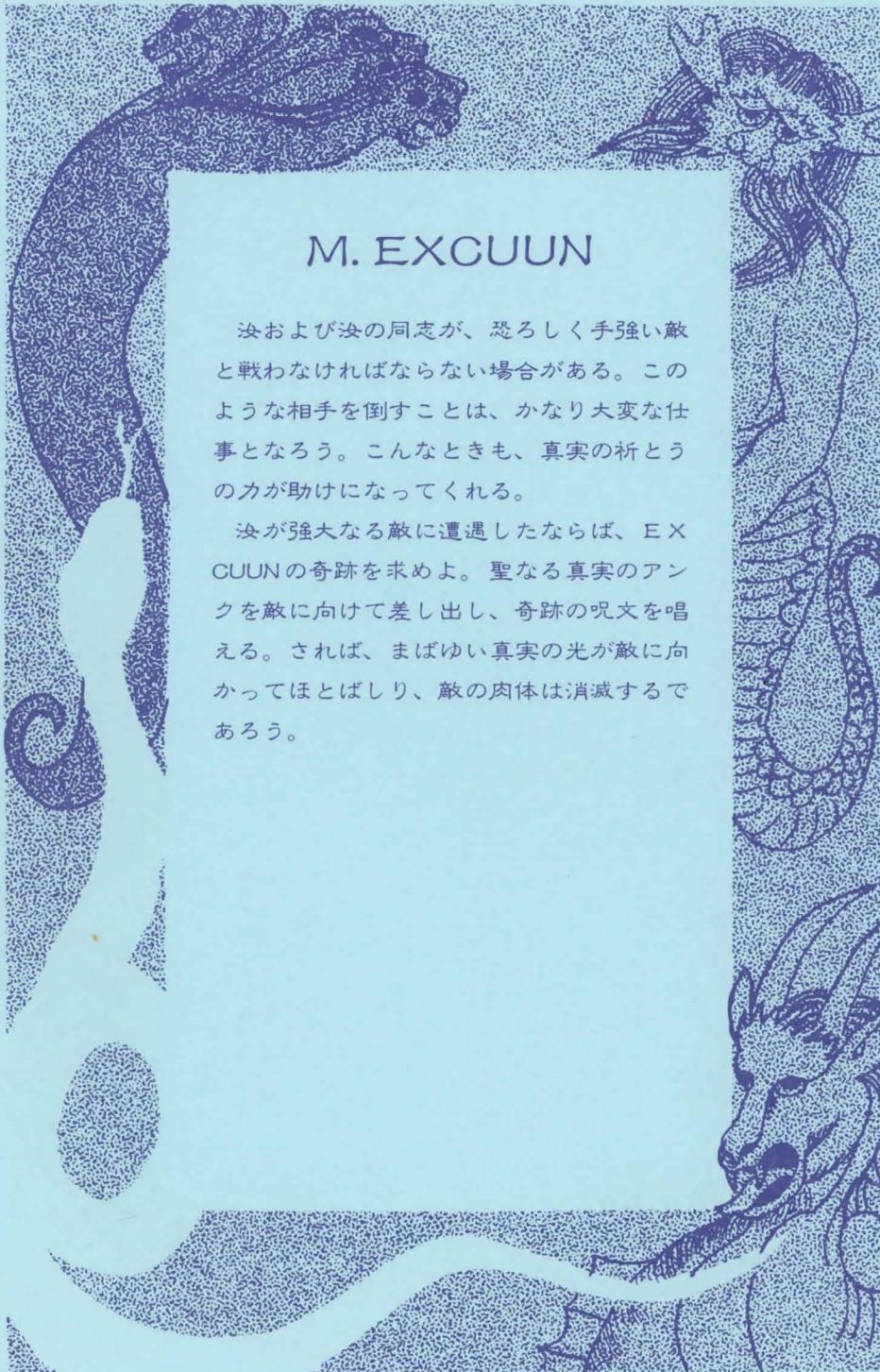
香油を小さな壺に用意し、それが完全かつ聖なる真実によって清められんことを祈れ。香油を負傷者の体に強く擦り込み、傷口深くにまで香油をしみ込ませよ。されば、汝の目前にて、肉体が結合しあい、傷は見る間に癒され、血液が再び血管に流れるであろう。



## L. VIEDA

地図を紛失したとき、薄暗いダンジョンの迷路にはまつたとき、鬱蒼とした禁断の森に迷い込んだとき、VIEDAの奇跡が、汝に道を示す。汝の魂が十分に清められていることが確かめられたなら、少量の聖水を汝のまぶたにこすりつけよ。されば、必要な時間だけ、汝の目に行くべき道が映るであろう。

精神統一が十分になされているなら、真実の奇跡は、汝の前に広がる。ダンジョンにいようと、地上にいようと、汝の周囲の映像が手に取るように見えてくるのである。



## M. EXCUUN

汝および汝の同志が、恐ろしく手強い敵と戦わなければならない場合がある。このような相手を倒すことは、かなり大変な仕事となろう。こんなときも、真実の祈とうの力が助けになってくれる。

汝が強大なる敵に遭遇したならば、EXCUUNの奇跡を求めよ。聖なる真実のアンクを敵に向けて差し出し、奇跡の呪文を唱える。されば、まばゆい真実の光が敵に向かってほとばしり、敵の肉体は消滅するであろう。



## N. SURMANDUM

ここまでくると、汝の力は、この世のあらゆる限界を越える。すでに汝は、死の王国に歩み入り、その世界にさまよえる魂を、この世に引き戻す力を手に入れた。

汝の魂を肉体から解放し、死の闇に潜入せよ。そして、そこで眠りについている、かつての同志の魂に手を差し伸べて、この世に連れ戻すのである。されば、彼の魂は元の肉体に戻り、命が蘇る。ただし、呼び戻さんとする魂の意志の力が弱く、連れ戻すことに失敗したならば、彼の肉体は灰に帰してしまうであろう。

## O. ZXKUQYB

上に記された文字は、7つの破壊の言葉の頭文字を並べたものである。それぞれの言葉は、真実の怒りを放出するものであり、完全な形で記されたことは、いまだかつてない。なぜなら、それらをすべて発音しただけで、計り知れない破壊力が噴出するからである。

この呪文が必要と思われるほど、邪悪な敵に遭遇したならば、汝のかたわらの大気にも、静かにこの呪文を唱えるがよい。敵のほとんどは衝撃を受け、そのあまりの強さに命を落とすであろう。そしてそれら邪悪なる者どもは、いかなる形によろうと、永遠に蘇ることはできない。

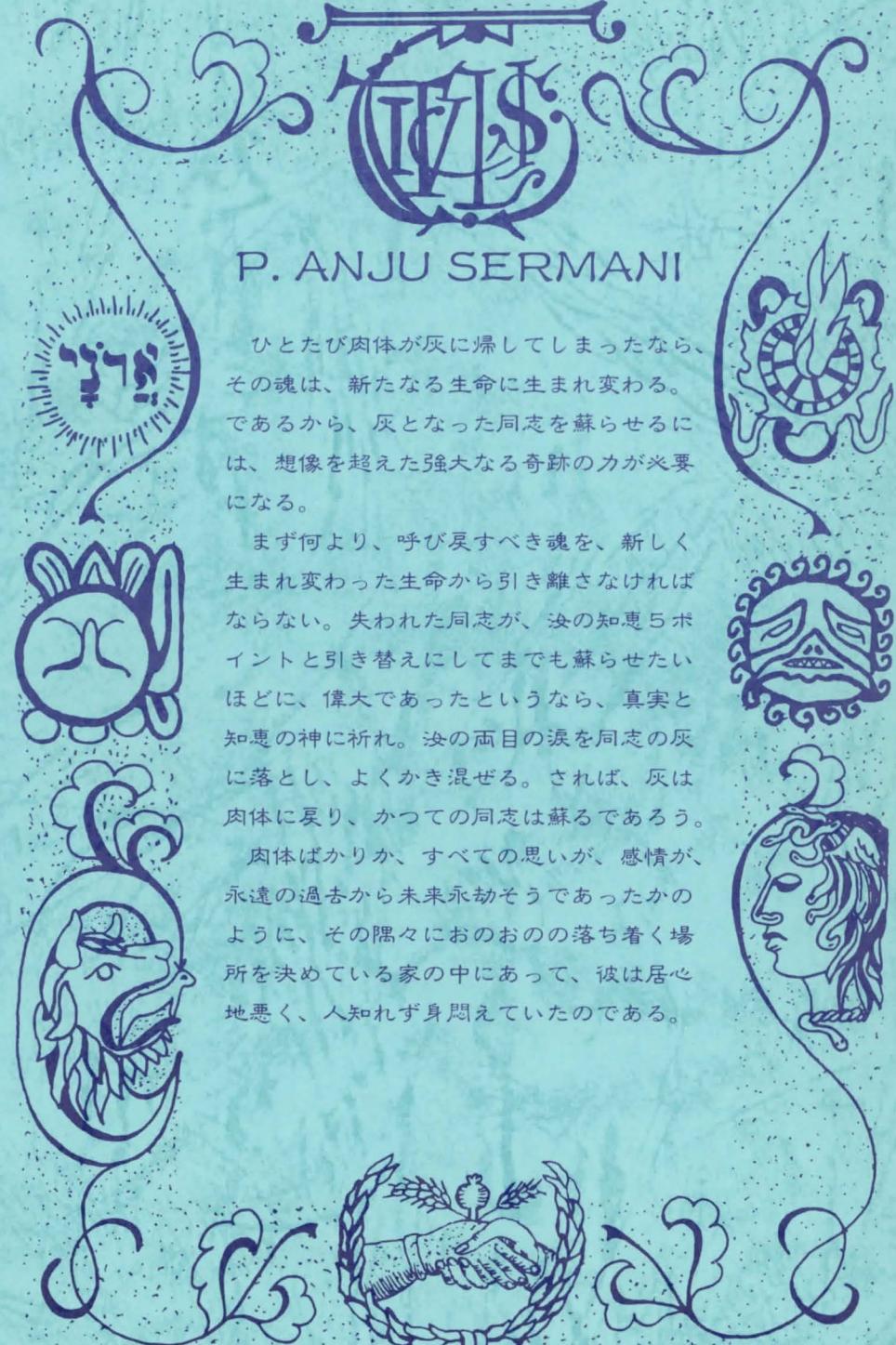


## P. ANJU SERMANI

ひとたび肉体が灰に帰してしまったなら、その魂は、新たなる生命に生まれ変わる。であるから、灰となった同志を蘇らせるには、想像を超えた強大なる奇跡の力が必要になる。

まず何より、呼び戻すべき魂を、新しく生まれ変わった生命から引き離さなければならない。失われた同志が、汝の知恵らポイントと引き替えにしてまでも蘇らせたいほどに、偉大であったというなら、真実と知恵の神に祈れ。汝の両目の涙を同志の灰に落とし、よくかき混ぜる。されば、灰は肉体に戻り、かつての同志は蘇るであろう。

肉体ばかりか、すべての思いが、感情が、永遠の過去から未来永劫そうであったかのように、その隅々におおのの落ち着く場所を決めている家の中にあって、彼は居心地悪く、人知れず身悶えていたのである。





*I, Lord British, would like to  
acknowledge the following persons  
for their invaluable assistance in  
creating this book.*

*Margaret Ellen Weigers, for  
the majority of works herein.*

*Roe R. Adams III, for the  
introduction and conceptual  
assistance.*

*Richard A. Garriott for a  
great deal of uneducated editing.*

*Robert, Marcy, Owen, and Helen  
Garriott for educated editing.*

*A special thanks to Helen M.  
Garriott for the wonderful  
illustrations throughout this book.*



Copyright © 1983 by Origin Systems, Inc.